

九鬼嘉隆と豊臣秀吉

1582 年に織田信長が亡くなると、九鬼嘉隆は信長の後継者である豊臣秀吉（1537–1598）に忠誠を誓いました。嘉隆は秀吉の下で水軍司令官として仕え、1592 年の朝鮮出兵のための新造船の建造を依頼されました。完成した立派な戦艦は、豊臣によって日本丸と名付けられ、豊臣艦隊の旗艦として使われました。

嘉隆が秀吉の支援を受けて築いた鳥羽城は 1594 年に落成しました。嘉隆はやがて隠居し、息子の九鬼守隆（1573–1632）に家督を譲りました。